

# 人文学部卒業研究

題目 YouTube のコメント欄から見るコメント分析

---

指導教授 山本明 印

---

提出年月日 2018年 12月 14日

---

学籍番号 HI15066

---

氏名 横道 彰人

---

## YouTube のコメント欄から見るコメント分析

HI15066 横道彰人

### 要旨

本研究は現代の SNS で起きる炎上起きる原因を探るための研究として動画投稿サイト YouTube で動画投稿をする YouTuber、その動画にコメントを述べるユーザーに対して抱く、自分が他人より上だと感じる仮想的有能感と呼ばれるものと関連付けた研究を行った。第 1 章では先行研究の概観について記述する。現実での対人トラブルをきっかけにネットに逃避、没入し、自分の姿が見られないというネットの特徴を利用し誰かを批判することでこの人物は自分より劣っている存在だと認識して仮想的有能感が働くことが明らかになっている。人が他者を見下す原因、仮想的有能感とはどのようなものなのか先行研究で明らかになっていることをまとめる。

第 2 章では目的、方法、分析結果、考察に分け記述する。動画を投稿する YouTuber を研究対象としてチャンネル登録者が数十万人から数百万人に到達している人物を中心に選出した。チャンネル登録者数がより多いほど YouTube 以外での Twitter などの SNS でも影響が大きいと考えられる。収集期間を 2018 年 8 月から 2018 年 10 月とし、分析項目として分析日・チャンネル名・動画のタイトル・アップロード日時・分析時の再生回数・高評価・動画の概要、コメント分析の一覧として、良い評価のコメント・悪い評価のコメント・どちらともいえないとして研究を行った。分析の結果、YouTuber それぞれの動画内容に違いがあるが、仮想的有能感を抱いているコメントはどの YouTuber でも少なからず存在していることがわかった。YouTube では視聴者を楽しませようとするため、再生回数を多くしようと少しでもインパクトのある動画を撮影しようとするため、時には他人の迷惑、非常識な行為をする動画などが投稿される。そのような動画は閲覧者に動画投稿者を見下すことにつながると考えられるため、仮想的有能感を特に抱くのは能力的な面で感じるものが YouTube ではあるのではないかと考えられる。他の SNS とは違った YouTube ならではの結論を導き出す。

終章では本研究の結果をまとめ、今後の研究の展望を述べる。私が研究の材料としたものはごく一部であり、これからも様々な動画が投稿される YouTube はまだまだ違った視点での研究の余地があると考えられる。

### キーワード

YouTube、炎上、仮想的有能感、攻撃性、オンライン動画

## 目次

序章	はじめに	1
第1節	本研究の意義	1
第2節	本論文の構成	1
第1章	先行研究の概観	1
第1節	ネットコミュニティによる他者とのつながりが自身に及ぼす影響	1
第2節	ネット依存から起こるトラブルと対処法	4
第3節	仮想的有能感からつながる攻撃性	5
第2章	YouTuberのコメント欄から見るコメント分析	6
第1節	目的	6
第2節	方法	6
第3節	結果	8
第4節	考察	27
終章	おわりに	29
	参考文献	30
	参考サイト	31
付録1	コーディングシート	i
付録2	内容分析結果	ii